

2013年度夏の三者総会議事録

2013年度三者事務局校・新潟大学

2013年8月5日(月) 13:30～
於・原子核三者若手夏の学校 ホテルたつき

目次

1	2013年度三者センター校(東京大学)	2
1.1	活動報告：援助と協賛について	2
1.2	新たな財源の探索に関する決議	2
1.2.1	Web 広告案と基研サーバーについての質疑応答	2
1.2.2	新しい助成団体の探求についての質疑応答	2
2	2013年度事務局校(新潟大学)	3
2.1	活動報告・役職校承認	3

1 2013年度三者センター校(東京大学)

1.1 活動報告：援助と協賛について

三者センター校の活動報告がなされ、また 2013 年度夏の学校の暫定決算が承認された。

1.2 新たな財源の探索に関する決議

基礎物理学研究所(以下、基研)から受けている助成金は年々減ることが決っており、2013年度の春の三者総会で新たな財源として web 上で協賛を募るという案が出されたが、現在のホームページが置いてある基研のサーバー上で行うことは認められなかった。そのため新たな案として、有料サーバーを用いて協賛を募る、助成を行って頂ける団体を新たに探す、という案が出され、可決された。

1.2.1 Web 広告案と基研サーバーについての質疑応答

Q：物性若手夏の学校では有料サーバーを使用しているのか？

A：YES. そのため有料サーバーを使用するノウハウを聞けると考えられる。

Q：有料サーバーをどのように選定するか？

A：サーバー運用に詳しい方に聞く

Q：目標額は？

A：3～5万円程度の広告費を頂き基研からの助成金の減少によって生じた不足分を補えるはず。

Q：夏の学校に相応しくないところからバナーを載せたいとの依頼が来たら？

A：断る。そのため選定もしなくてはならない。

Q：どのぐらいのスパンで運営していくつもりなのかは決まっているのか？

A：それも含め今後議論をしなくてはならないと考えている。

1.2.2 新しい助成団体の探求についての質疑応答

Q：IPMU の機構長である村山斉氏(東京大学カブリ数物連携宇宙研究機構)に直談判することは可能か。

A：IPMU に「旅費補助」の予算枠はないので、厳しいと考えられる。可能であれば、幸いである。

Q：申請時に、学生だけでなく IPMU にもメリットがあるということを積極的にアピールすれば、可能ではないのか。また、どのように申請するのか。

A：申請の仕方自体は、申請書を出せる研究所に対して申請書を出して、プレゼンを行う。プレゼンの結果に応じて、研究会に対して適切なお金が振り分けられる。

これからは、財団法人や共同利用型の研究所などに対して、積極的に申請を行おうと考えている。

Q：KEK に「旅費補助」の予算枠はないのか。

A：KEK には「旅費補助」の枠があるので、申請することは可能である。

また、以下の補足説明がなされた。基礎物理学研究所の所長である佐々木節氏（京都大学基礎物理学研究所）に、KEK に対して夏の学校の助成をしてくれるように申請書を書いてもらえる可能性がある。

2 2013 年度事務局校 (新潟大学)

2.1 活動報告・役職校承認

三者事務局から 1 年間の活動報告がなされ、以下の役職校の担当が承認された。

年度	役職	大学名
2015	三者事務局校	神戸大学
2015	三者名簿校	広島大学
2016	三者センター校	九州大学
2016	三者準備校	京都大学